

『御国？…が来る？』 マタイ6章6～10節 2018.1.14(主日礼拝説教より)

『…神の国は…義と平和と聖霊による喜びだからです。』ローマ 14:17

❶「御国」とは何か…イエスの公生涯第一声は、「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じよ(マルコ 1:15)」。「国(バシレイア)」とは、「王権・支配」の意。「御国」も「神の国」も同じで、「神の恵みの支配が及ぶ領域」のこと。「国」が成立する3要素…国民・領土・主権。この世に来た「御国」には、愛に満ちた父の御心に従う民がおり、聖なる領域があり、神の戒め「互いに愛し合いなさい」が支配する！★皆さんの心や人生は何が支配している？何を一番大切に生きている？いつも神の愛や平和が支配？それとも…？

❷「御国」はいつ来る(来た)のか…イエスの「例え」の多くは『天の御国は…のようだ』で、その教えの中心は『神の国』(天の御心が世に実現すること。天と地ほど離れていた「神の御心」は、御子の誕生によって地上まで来た(ルカ 2:14)！後は、「世」がその恵みを受け取るだけ！昔は天のはるか上だった神の恵みは、今は手を伸ばせば届くところにある！「神の恵みの支配」が、この世に広がるには3つのステップ。①第一段階…御子が私たちの罪の身代わりに死んで甦られたこと(贖い)を信じた時、その人に御国が来る！「一人も滅びないように」との願いをこめて「御国が来ますように」！②第二段階…贖いを信じ、御心に従う人が複数になった時、御国は広がる(マタイ 18:20)。その特徴は『義と平和と聖霊による喜び(ローマ 14:17)』。義…独りよがりな正しさではなく、隣人に対する「憐れみと思いやり」の関係を築くこと！平和…争いが尽きず、意見が合わない状況でも、イエスから愛や慰め、知恵や忍耐をいただいて作り出す平和！失望の日々でも、「御国が来ますように」と祈る時、必ず神からの喜びが与えられる！③「第三段階」…御国の完成(再臨)の時。イエスを信じ救われた私たちは、そこに入る！永遠の安息(平和と喜びの完成)を目指して、毎日祈りたい「御国が来ますように」！

❸神の国に入った人／入らなかった人…ある役人(ルカ 18:18～)は目の前の御国から離れて行き、ザアカイ(ルカ 19:1～)は「今日、この家に救い(御国)が来た」と言われた！役人は自分の所有物に支配され、ザアカイは、世のもので満たされない渴きをもってイエスと出会い、それを得た！

★あなたの一番大切なものは？人生の全ては天の父の恵みの贈物！この神の恵みの支配が、自分に、家族に、教会に、地域に…来るようにと祈りつつ、その喜びを日々実感しよう！